

かみしほろ 第II期 地方創生 全体マップ

上士幌町では、2020年度から2024年度までの第II期地方創生において、5つの柱を中心に、社会・経済・環境が相乗的に向上する持続可能なまちづくりを進めています。まちづくり会社「(株)生涯活躍のまち かみしほろ」による生きがいづくりやコミュニティづくり、地域商社「(株)karch」による道の駅などの観光を軸とした地域プロデュースや電気小売販売による再生可能エネルギーの地産地消、またシェアオフィスの活用等の関係人口の拡大、

次世代高度技術の社会実装、家畜ふん尿バイオガスプラントを核とした資源循環型農業の構築や再生可能エネルギーの供給など、この小さな町におけるそれぞれの取組が有機的に結びつき、スマートタウンの実現を目指していくことで、誰もが生涯活躍できる持続可能なまちづくりを目指します。

誰もがいきいきとした
住みよい上士幌町



上士幌町の基本情報

- 人口** 4,874人 (2023年1月)
- 世帯数** 2,577世帯 (2023年1月)
- 面積** 696km² (東京23区よりやや広い)
- 人口密度** 約7人/km²
- 社会増減数** +68人 (2019年~2021年)
- 高齢化率** 34.47% (2022年11月)



01

第1の柱

だれもが生涯活躍できる
まちづくり



仕事や困りごとのマッチング

地域包括ケアの充実

子育てサポート・生涯学習機会の充実

Page 05~06

02

第2の柱

環境と調和した
持続可能な農業と
エネルギーの地産地消



バイオガスプラントを
核とした資源循環型農業

再生可能エネルギーの地産地消

ゼロカーボンかみしほろへの挑戦

Page 07~10

03

第3の柱

地域が稼ぐ力の
発揮・地域経営



特産品の開発・商品化

観光拠点施設の運営

DMO・観光戦略

Page 11~12

04

第4の柱

人の都市・地方循環による
地域活性化



移住・定住・交流による
関係人口の創出

都市と地元の交流場所づくり

自己実現とマッチング機会の提供

Page 13~15

05

第5の柱

次世代高度技術の実装による
スマートタウンの実現



ICTの積極的な活用

地方課題の解決と
住民生活の利便性向上

デジタル化による最適化

Page 16~18